

旧明倫小学校3号棟・4号棟のあり方について 「1棟を建物活用、1棟を現状保存」に決定

平成31年3月19日
産業戦略室

これまでの経緯

平成30年	6月	孔子廟の移設とは切り離し個別に検討
	7～8月	意見募集
	9月	中間報告
	12月	5つの活用案の提示
平成31年	1～2月	市民アンケート
	3月	方針の決定

※運営方法、市場性、整備・運営にかかるコスト、実現可能性などの調査を行いました。

アンケートについて

アンケートの内容

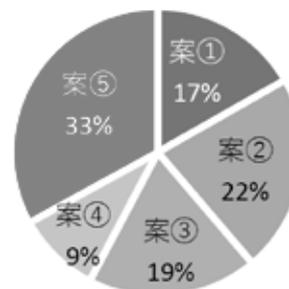
調査内容	旧明倫小学校3号棟・4号棟のあり方(活用案)について
実施期間	1月15日(火)～2月8日(金)
調査対象	萩市住民基本台帳から18歳以上の方3,000人を地域別、年代別の人口割合に応じて無作為抽出
調査方法	郵送配付・郵送回収
設問方式	5つの活用案からひとつを選択する方式

配布・回収状況

配布数	3,000件
有効配布数	2,988件 ※配布数から未着分(12件)を除いたもの
有効回答数	1,209件 ※無効数(36件)を除いたもの
有効回答率	40.5%(有効回答数/有効配布数)

アンケートの結果

	案①	案②	案③	案④	案⑤
活用案	建物活用	建物活用 現状保存	現状保存	跡地活用 (発掘あり)	跡地活用 (発掘なし 更地活用)
件数	202	268	228	112	399
割合	17%	22%	19%	9%	33%



判断に至った理由・プロセス

- ◎ 建物を活用・保存する案(案①～③)が6割近くあり、跡地を活用する2つの案(案④・⑤)の合計より多かった。
- ◎ 建物を活用・保存する案のなかでは、1棟を建物活用し、1棟を現状保存する案②が最も多かった。
- ◎ 5つの案のなかでは、発掘せずに、跡地を更地活用する案⑤を選択された方が最も多く、3割強であったが、1つの案で過半数を超えるような圧倒的な案は無かった。
- ◎ 建物を活用する案①②を選択された方は、コンセプトに沿った活用やプランの内容を選択理由とした方が多かった。
- ◎ 現状保存の案③を選択された方は、「将来の維持管理費用」を心配しつつも、まずは建物を残して欲しい。活用に関しては少し時間をかけて検討するなどの意見が多かった。
- ◎ 跡地を活用する案を選択された方は、「初期費用にかかる市の負担」や「将来の維持管理費用がかかる」などの意見が多かった。
- ◎ 維持管理費用による次世代の負担を心配される60代以上の方々の意見が多かったが、萩の未来を担う世代の若者たちからは前向きに建物活用すべきだという意見も多くあった。

総合的に判断し、

案②を方針とする。なお、整備費や維持管理費用についてはその抑制を念頭に置き、補助金等の調整やふるさと寄付の募集により市の負担の軽減に努める。

案②「建物活用／現状保存」について

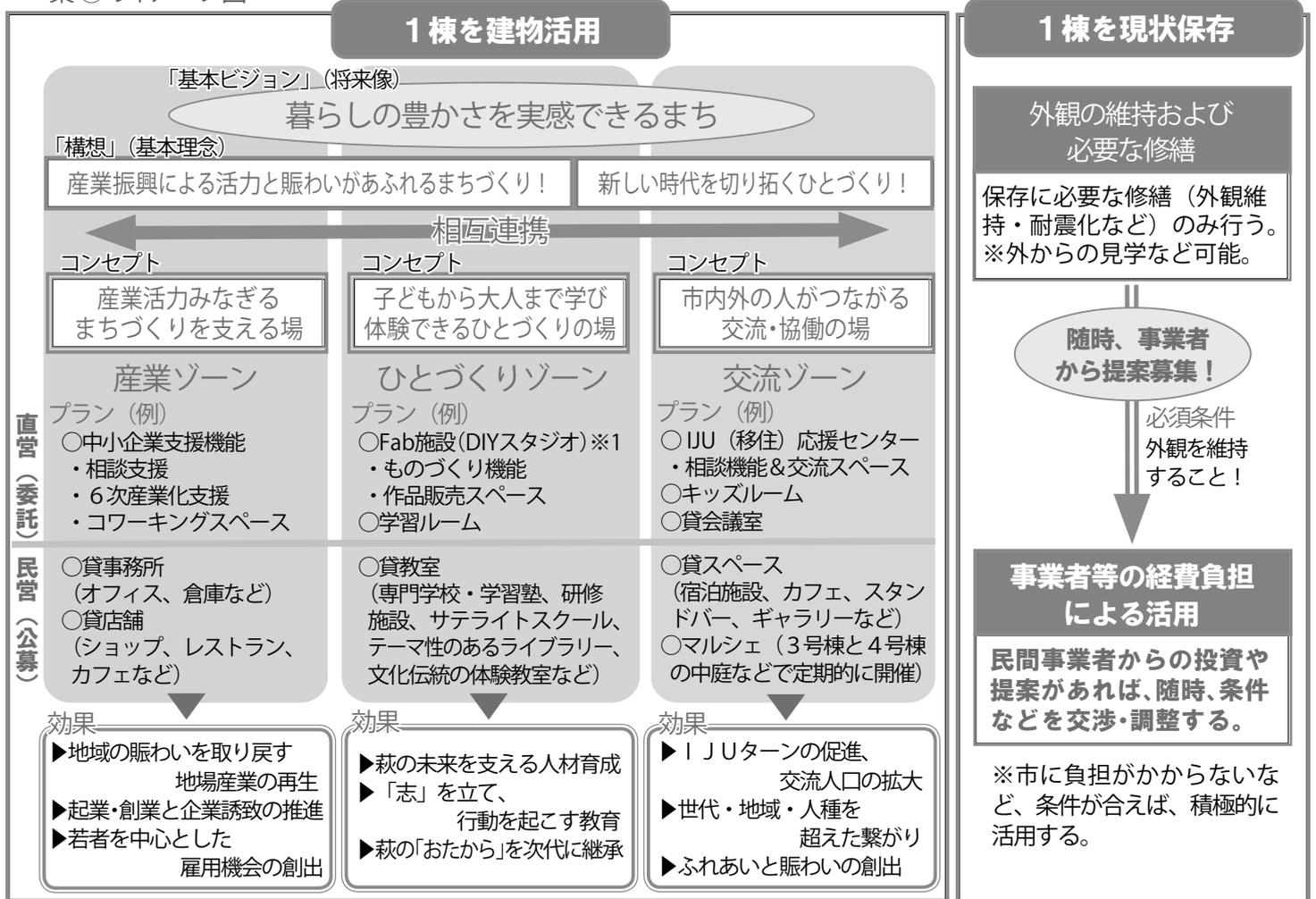
- 1棟を「産業・ひとづくり・交流」としてゾーニングし、それぞれのゾーニングに合わせた機能・効果を持たせた活用方法。（活用プランを直営・民営の活用と分けて、民営の活用については利用事業者等を公募）
- 1棟は保存に必要な修繕（外観・耐震化など）のみ行う。今後、民間事業者の投資や提案があれば、随時、可否や条件等を交渉し検討する。

案②のポイント

- 市の「基本ビジョン」に掲げた基本方針についての活用が可能。
- 本市の雇用など経済面、ひとづくりなど人材育成面での投資効果も相当程度期待できる。
- 1・2号棟と合わせた4棟の木造校舎が現状のまま残る。

※「現状保存」部分については、民間事業者との条件が合えば積極的に活用する。

案②のイメージ図



※1 アナログ・デジタル工作機器が利用可能な施設のこと

今後のスケジュール(予定)

平成31年4月～

平成33年4月以降



「現状保存」部分については、市内外事業者からの投資・活用提案があれば調整する

※財源や建設の工期などによりスケジュール通りにならない場合もあります。